

# 速報 2022春季生活闘争「妥結」

◇ 年度初における定期昇給の完全実施

◇ 夏季手当 1.34ヶ月＋5万円（年末手当については別途回答）

## 主な妥結内容

※各種手当、生活改善等の妥結内容の詳細については本部発信の機関紙・業務速報を参照ください。

### □基準昇給について

✓2021年度と同様の基準昇給額表に基づき年度初より実施（定期昇給分の確保）

### □ベースアップについて

✓ベースアップなし

### □期末手当について

✓夏季手当については、基本給、エリア手当及び扶養手当の合計額の1.34ヶ月分と一時金5万円（6/30支払い）  
✓年末手当については、別途回答を受けて交渉

### □各種手当・総合生活改善等について

✓通勤手当における特急列車利用に関する要件の見直し  
（通勤時間に関する要件見直し、社宅または寮に居住している者に対する要件の見直し）

JR西労組が取り組む2022春季生活闘争は、2月3日に開催した第40回中央委員会で「年度初における基準昇給の完全実施」、「ベア1,000円」、「年間臨給4.0ヶ月」を要求の柱とした方針決定を行い、翌日4日に会社へ春闘の要求書を提出した。今春闘は、コロナ禍においてもエッセンシャルワーカーとして働き続けた評価や働きの価値に応じた賃金を目指し、昨年度はベア要求を見送ったが、JR連合の統一ベア1,000円の方針のもと、2年振りとなるベア要求を行なった。JR西労組は、組合員と家族の「安心」を取り戻し、『未来をつくる人財への投資を!』をメッセージとして掲げ、「未来志向春闘」として臨んだ。

米子地方本部としても、2月25日に第31回地方委員会を開催し、地方本部の活動方針を決定するとともに、今日まで各支部・分会の精力的な取り組みにより、賃金実態調査、撤布行動、フォトモザイク作成のための写真データ集約、各支部での春闘総決起集会の開催など、地方より中央闘争委員会の後押しとなる取り組みを展開した。

中央闘争委員会は3月16日を回答指定日としたが、会社より「基準昇給の年度初実施」についてのみの回答であり、その他の要求に対しては「まん延防止等重点措置期間であり、ご利用も低調であるため、現時点で判断できる状況にないことから4月初までに回答したい」と表明があり、16日以降も会社に対し現場組合員の思いを会社に訴え続けてきた。本日、回答を受けて妥結としたが年末手当については別途回答としており、我々の要求に対して未回答の部分については今後も会社に対し要求を掲げながら、働きの価値に見合った賃金を求めていく。

## 【主な活動経過】

- ✓2月3日 「JR西労組第39回中央委員会」を開催し、春闘方針決定
- ✓2月4日 2022春闘要求書を会社へ提出
- ✓2月25日 「JR西労組米子地方本部第31回地方委員会」を開催
- ✓3月11日 「JR西労組春季生活闘争総決起集会」を開催

## 【各支部春闘総決起集会】

※鳥取支部については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により急遽開催中止としたが、3月17日の鳥取支部執行委員会後に情勢の確認と意思統一を図った。

□米子支部 3月9日      □出雲支部 3月7日      □石見支部 3月3日

**2022春季生活闘争における全組合員の奮闘に感謝申し上げます！！**